

青少年のためのターミナルケアに関する出前講座

## 「命と心の授業」

— 命には最期まで心がある —



### 仙台ターミナルケアを考える会

事務局：〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4丁目7-2  
みやぎいのちと人権リソースセンター2F（毎週水曜日 13:00~16:00）  
TEL・FAX 022-293-3275 E-mail：[t-care@poem.ocn.ne.jp](mailto:t-care@poem.ocn.ne.jp)  
ホームページ：<http://st-care.sakura.ne.jp/>

仙台ターミナルケアを考える会  
青少年啓発事業「青少年のためのターミナルケアに関する出前講座」

## 「命と心の授業」

— 命には最期まで心がある —

### 1. 趣 旨

本会は、がんによって終末期（ターミナル）を迎えた患者、家族などに対するケアの問題を中心として「生と死」の臨床的な意味について学び、考えるとともに、必要なケアの実践、及び情報の提供に関する事業を行い、QOL（Quality Of Life）向上に寄与することを目的に展開しています。

近年、交通事故や虐待・犯罪の犠牲者となって命を失う子どもや、いじめが原因で自殺する子どもが後をたたない状況が続いている背景から、本事業への取り組みを開始しました。

死を身近に考える機会の少ない青少年に、「命に限りがある」ということや「命には最期まで心がある」ことについて考える機会を与え、生命科学の側面からの命のバトンタッチ（人の命の連続性）や、それを受け継いだ自分の命の重みについて考えさせることが必要です。

自己肯定感を育て、他者の命の重みを実感し、人との関わりや環境を守ることの大切さを熟考できる授業を提供していきたいと考えています。

### 2. 目 的

- ①ひとりひとりがかけがえのない命を持っていることを理解させ、自己肯定感を育てる。
- ②命の大切さを認識することで、他者の命の重みを感じることができるようにする。
- ③命を育む自然環境や社会環境を守り育てることへの関心を持たせる。

3. 対 象     : 中学校1～3年生

4. 方 法     : 「総合的な学習の時間」「保健体育科」「道徳」の授業として実施する。

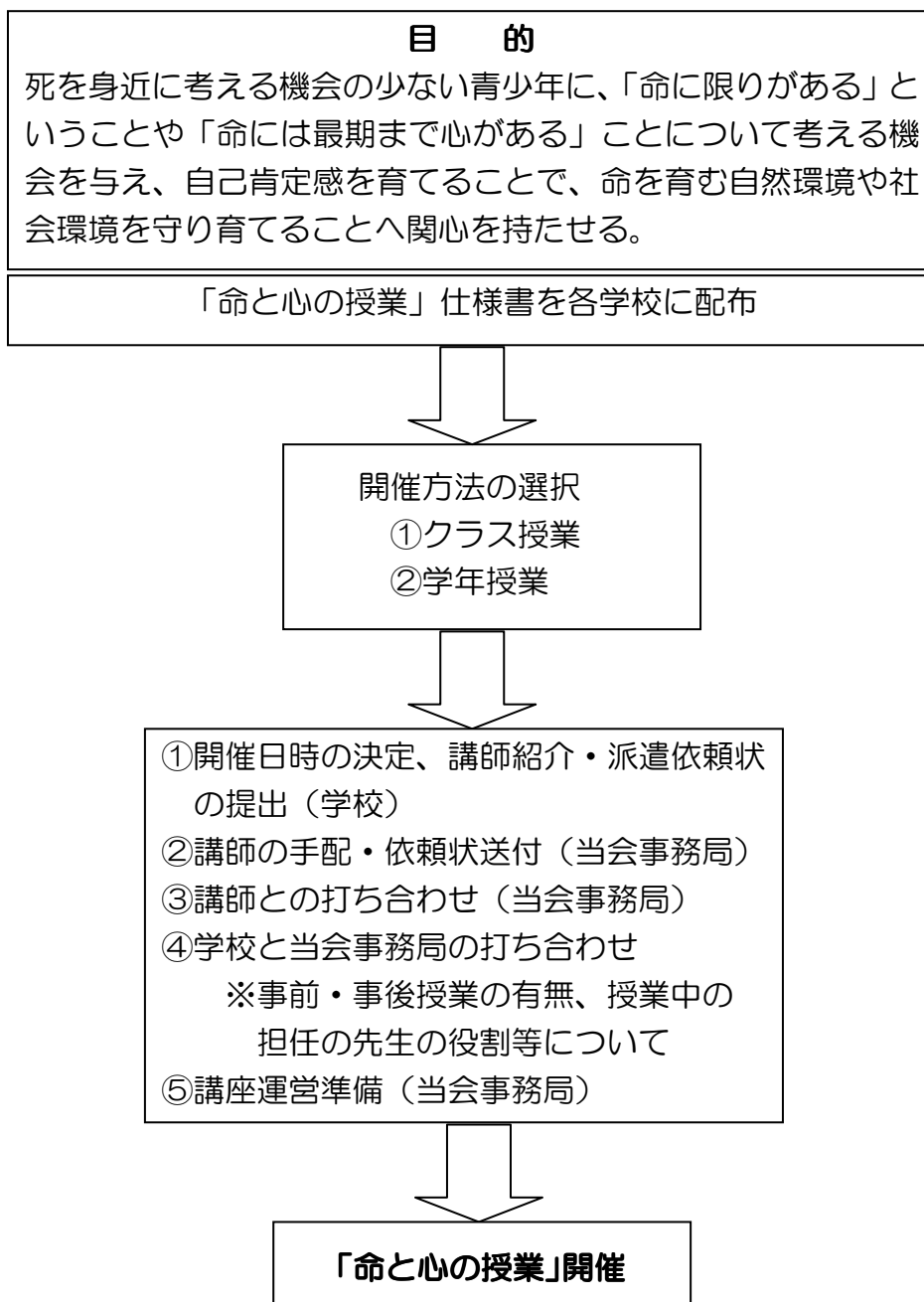
5. 授業の指導案（50分授業） ※一例です、内容は相談後決定します。

段 階		指導の流れ	主な指導内容	指導上の配慮事項	教材・使用機器
導 入 (10分)		①授業テーマの説明 ②命のバトンタッチ (つながり) ③社会環境が生み出す命 の格差 ④自分の命の意味	①授業の目的を説明 ②赤ちゃんの誕生、皆の喜び 誰かが死ぬ、皆の悲しみ 平均寿命 昔から今 ③途上国は今でも平均寿命が短い 栄養不足、戦争、不衛生 ④生き物全て死がある	②命の起源やつながり・誕生を理解させる 自分たちの命が多く命のつながりの上にあることを 理解させる ③どんな命も等しく1回限りだということを理解させる ※新聞の切り抜きや写真で痛みを共有させる ④どの命にも生まれてきた意味があり、生まれてきたこ とで、周りの人にも夢と希望を与えていることを伝える	プロジェクター スクリーン（全般）
展開 1 (5 分)	病 気	①病気	①病気（子ども、中年、老年） 病気に伴う苦痛と死に対する恐怖	①様々な病気により痛みや苦しみがあり、命には限界が あることを理解させる ※患者さん（同年代）の事例紹介 (死や痛みと向き合いながら自分の命を大切にする)	映像 手記・手紙など
展開 2 (25 分)	タ ー ミ ナ ル ケ ア	①ターミナルケア	①治療困難な患者と家族を身体・精神 両面で支える取組みについて説明 ・医療的（緩和ケア等） ・心理的（臨床心理・宗教等） ・福祉的（ソーシャルワーカー） ・社会的（ホスピス・ボランティア 等）	①命を救う限界があることと、心を救う取組みについて 理解させる 人はたった一人では生きられないことと、最期まで自 分らしく生きることができるよう支えてくれる人々 がいる事を理解させる	映像 事例紹介
まとめ (10分)		①命を大切にしよう ②アンケート記入	①命を大切にしよう ②アンケート記入	①自分がこれからできることはたくさんあり、多くの 人と関わることで様々なことを学んでほしいと伝 える ②アンケートに記入することで、この授業を受けて得た ことをまとめる	振り返り学習資料と してスライドをプリ ント配布

## 「命と心の授業」講師一覧

名前（敬称略）	講師紹介
吉永 馨	東北大学名誉教授 内科医師 本会会長
関本 朝吉	仙台幼児保育専門学校理事長 本会副会長
海野 道郎	前宮城学院女子大学学長 東北大学名誉教授 本会副会長
石上 節子	元東北大学病院看護師長 本会事務局長
小笠原 鉄郎	宮城県立がんセンター緩和医療科科長
小笠原 義道	仙台ユネスコ協会監事
佐藤 隆裕	医療法人社団爽秋会 岡部医院院長
金子 純雄	大富キリスト教会協力牧師
日下 潔	祐ホームクリニック石巻院長
杉野目 暢	元河北新報社役員
高橋 ひろみ	元仙台市立病院看護師長
中保 利通	東北大学病院緩和医療科科長
宮腰 孝	メンタルヘルス相談室長 精神科医
山室 誠	八戸西病院院長 八戸看護専門学校長 前東北大学教授
海鋒 博美	宮城学院女子大学後援会会長
佐々木 啓一	会社役員

## 「命と心の授業」までの手順



### < 開催にあたっての留意事項 >

- 講師は開催日に合わせて当事務局が選定します。
- 講師紹介・派遣依頼書の提出は、開催日の2ヶ月前までをお願いします。
- 講師謝金は基本無料とさせていただきますが、交通費に関しては事前にご相談させていただきます。

## 「命と心の授業」 講師紹介・派遣依頼書

1	学 校 名			
2	講座開催方法	<input type="checkbox"/> クラス授業 <input type="checkbox"/> 学年授業		
3	対 象 者	<input type="checkbox"/> ( ) 学年 ( ) 組 ( ) 名 <input type="checkbox"/> ( ) 学年 ( ) 名		
4	開催日時	第1案	年 月 日	時 分～ 時 分
		第2案	年 月 日	時 分～ 時 分
		第3案	年 月 日	時 分～ 時 分
5	会 場			
6	その他 準備物 要望等			
7	担当者 連絡先	氏 名： TEL.： Mail Address：		

※開催日時および講師の都合により不可能な場合が生じますので、第3案まで  
ご記入下さい。

講座開催日の2ヶ月前までに提出して下さい。